



**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことのために  
手を取りあおう




2025-26年度  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ  
第2600地区ガバナー 小林 磨史



【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F  
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>  
《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル 2F 《創立》1997年2月18日

- 会長 合原 亮一 ● 幹事 斉藤 仁 ● 出席・会報・ニコBOX委員長 水野 康雄 ● 副委員長 宮原 宏一
- 委員 青柳 淳一・川島 隆教・北村 久文・小林 善久・胡桃沢 拓也・松澤 一志・西澤 尚夫・清水 一典

## 例会日誌

- 司 会 杉山 裕君
- 点 鐘 合原 亮一君
- R ソング 「それでこそロータリー」
- 委嘱状授与  
次年度地区デジタル化推進委員  
合原亮一君 
- ラッキー賞  
提供者 吉田 穰君  
「山口土産」   
斉藤 恵理子君 松澤 一志君
- 委員会報告  
「ロータリーの友」 紹介  
杉山 裕君 

## 会長挨拶

合原 亮一君

会長を拝命した時は、毎週の挨拶と言っても話すことがないので、毎回自分がやっている再生可能エネルギーの話ばかりになってしまうのではないかと感じていました。実際には色々とお話することがあり、ほとんどその話はしませんでしたので、今日は少し再生可能エネルギーのお話をしたいと思います。

ソーラーシェアリングと言って、農地で営農しながら太陽光発電もする仕組みの普及事業を行っています。今もイラン戦争が終わらず、海外で勝手に戦争を始められると日本の経済が大きな影響を受け、ここにいる全員が心配しなくてはならないという事態になっています。

開戦時の私の試算では、何もしないと4月末でナフサ不足が表面化、5月末までに戦争が終わらないと日本の原油備蓄が不足する可能性があります。政府も調達が多様化などしていますが、6月

末までに戦争が終わらないと備蓄が持つか再検討したいと思っています。

燃料などは政府が補助金を出して価格を抑えています。しかし補助金は経済を歪めてしまいます。本当に困っている人には補助が必要ですが、それ以外の人にはエネルギーは高く不安定という事実を価格で示し、節約したり化石燃料を使わないようにしたりするインセンティブを与える方が大事です。補助金も赤字国債ですので、結局国民が税金で返さなければなりません。旧ソ連が崩壊した時、大国間の冷戦はなくなるが地域紛争は増えるという観測でした。問題はアメリカやロシアといった大国が地気紛争を起こしていることで、今後もエネルギー価格は乱高下する可能性が高いと思います。

再生可能エネルギーは国産エネルギーですので、今は 20%ぐらいしかないのを政府の目標でも 2050 年には実質 100%を目指しています。一番安い再エネはソーラーです。農地の 1 割ぐらいに設置すれば、100%再エネ化を達成できます。ソーラーシェアリング以外でも、再エネ比率を上げることを優先するべきかと思います。赤字国債で補助金を出している場合ではなく、再エネ比率を上げておけば、海外の戦争の影響も受けにくくなりますし、日本の経済力も強化されます。

太陽光や風力といった再エネは発電が不安定とされていますが、自宅に 15kWh の蓄電池を設置して 1 カ月ほどになりました。この 1 カ月、ほぼ全く中部電力さんの電気を使っていません。移動も電気自動車で、その充電もすべて自宅の太陽光発電で賄っています。太陽光も蓄電池もかなり安くなりましたし、電気料金は逆に上がり続けています。皆さんも生活の再エネ化を考えてみられて





はいかがでしょうか。

## 幹事報告



杉山 裕君

- 当クラブ
  - ・青少年育成事業報告書
- 地区事務所
  - ・2025-26 年度地区大会報告書について
- さくら高校より
  - ・さくら育英会奨学基金へのご寄付とさくら新聞発行のおしらせ
- 上田信用金庫より
  - ・融資業務窓口変更のお知らせ
- 生川君より
  - ・近況報告

## 出席・会報・ニコ BOX



川島 隆教君



	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	16	6	0	62.50%
前々回	21	3	2	95.23%

- 合原亮一君 田植えがなかなか終わらず困っていますが、今週何とかかな？
- 山崎芳雄君 6 月 6 日の地区チーム会議を以てガバナー補佐の任務が終わりました。皆さんご協力ありがとうございました。
- 水野泰雄君 梅雨空が続きます。体調管理に気をつけましょう！
- 戸堀真澄君 5 クラブ合同親睦コンペ優勝。お疲れ様でした。無事終了してよかったです。ありがとうございました。
- 川島隆教君 安曇野ハーフ 1 時間 37 分でした。富山までマラソンはお休みです。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 肥田野秀知君 | 笠原 一洋君 | 飯島 俊勝君 |
| 松澤 一志君 | 清水 一典君 | 小林 善久君 |
| 青柳 淳一君 |        |        |

ニコニコ BOX 喜投額	6/9	18,000 円
今年度累計	740,000 円	123% (予算目標 60 万)

## 青少年育成事業について



【2025-26 年度青少年育成事業報告】  
プロジェクト名  
伝統文化継承と子ども食堂支援

## プロジェクトの実施状況

(主催・共催の状況、参加人数 ローターン・一般、参加者の反応等)

当事業は、当クラブ主催にて 2025 年 5 月 24 日に実施した田植えから始まりました。

今年度の青少年育成基金助成事業は以下の通りです。

### 【9 月 7 日】

稲刈り 参加者 6 名(小学生 5 名、高校生 2 名、保護者 1 名)、メンバー 6 名

### 【11 月 29 日】

おけまる食堂「もちもちフェス」9 月に収穫したもち米で餅つき。参加者 子ども 22 名、大人 27 名(高校生、大学生含む)小学生以下 4 名、小学生 18 名、高校生 2 名、大学生 2 名、保護者 21 名、メンバー 10 名、メンバーの奥様 5 名

### 【5 月 24 日】

田植え 参加者 15 名 小学生 3 名、中学生 5 名、高校生 2 名、長大アクト 5 名+(前日草刈り手伝い 2 名)、メンバー 6 名

稲刈り後、おけまる食堂へのお米の寄付は、おおむね月 1 回程度贈呈し、年度内で、計 6 回の贈呈予定となる。収量は、もち米が玄米で 40kg(白米 36kg)、コシヒカリが粳で 375kg(白米換算 235kg)。

これまでに白米で 5 回計 72kg 贈呈し、年度内あと 1 回計 13kg お持ちする予定です。

おけまる食堂やその保護者から、「とてもありがたい」とお話しいただいています。

### 【2026-27 年度青少年事業申請】

### 【伝統文化継承と子ども食堂支援】

メンバー所有の田んぼを 1 枚借り受けて、子ども食堂に寄贈するための米をメンバーと子どもたちと長野大学ローターアクトのメンバーと一緒に育てる。

稲刈り、田植えにおいては子どもたちやローターアクターにも参加してもらい、稲作における伝統文化継承を目的とした農業体験を実施する。その田で育てた米は収穫後に全て子ども食堂に寄贈する。作付け状況、育成状況により変化するが、300~500kg を贈呈する予定で、支援対象となる子ども食堂を増やすことも検討している。

今年度は、前年度の稲刈りにて手作業で作業する稲刈り用の鎌が必要であったため補充したい。

## 6 月 23 日例会予定



最終夜間例会 18 時から受付  
18 時半 点鐘

